

人生ハンド仏句

第133号

H. 25. 4. 1

(毎月1日発行)

仏教の目標は

住職 谷川寛俊

目標はズバリ、仏に成ること(上求菩提(じょうくぼだい)と人々の幸せのために法を伝えること(下化衆生(げけしゅじょう)にあります。

ここで注意しなければならぬことは、仏になる(成仏)ということとは、死んでから仏になるのではなく、或は本堂に祀られている金ピカの仏像のようになる仏ではなく、この身、このまま凡夫の姿である私達が生きながら成仏(仏になる)するところに法華経・お題目の最高のブランドの教えの尊さがあるのです。

それはただ単に「口」でお唱えさえすれば良いというのではあり

ません。口・意・身(く・い・しん)と申しまして、まず口で唱え、意(こころ)に念じ、身で実践するというこの三つがそろつてこそ、生きながらの仏様(成仏)と言われるのです。

お釈迦様は、この目標を達成するために、まずこの世の現実を的確に把握することが大切であると述べられた。それが「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂靜(ねはんじやくじょう)」である。この三つを三法印といい、物事はすべて原因があつて結果があると説かれました。

つまり、苦しみの根本的な原因がなくなれば、苦悩もなくなるという事でありませぬ。そこでお釈迦様は、苦について「四諦(したい)」「八正道(はっしょうどう)」「というお言葉で示されました。

「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行

玉蓮山 真成 寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

① 四諦とは、四つの心理という意味である。② 苦諦(くたい)：人生は本質的に苦である。

③ 集諦(じつたい)：人生は苦であることの原因を明らかにしている。④ 滅諦(めつたい)：苦の原因である煩惱の消滅が苦の消滅となる。

⑤ 道諦(どうたい)：苦を取り除く方法(八正道)があります。

・正見(しょうけん) 正しくものごとを見る。

・正思惟(しょうしゆい) 正しくものごとを考える。

・正語(しょうご) 正しい言葉話す。

・正業(しょうごう) 正しい行いをする。

・正命(しょうみょう) 正しい生活を送る。

・正精進(しょうじょうじん) 正しく目的に向かって努力する。

・正念(しょうねん) 正しい自覚を持つ。
・正定(しょうじょう) 正しく精進を集中し、安定させる。
これらの修行を積むことによつて、苦しみを克服することが出来るのであります。

今日八日は、そのお釈迦様がお生まれになられた聖日です。お互いに少しでも目標に向かって己を磨きたいものであります。



身延山の見事な枝垂桜

お知らせ

◎釈尊御降誕会法要

(花 祭 り)



・ 四月八日 (月)

・ 午前十一時

お給仕 (お講) 当番は、
経田・本新地区の方々です。
どうぞ宜敷お願いいたします。

※尚、甘茶がほしい方は、入れ物
をご持参下さいませ。
又、お一人でも多くの方に差し
上げたいので、大き過ぎるペッ
トボトル等をご遠慮下さいませ。

◎一日祈願会

ついたちきがんえ

毎月一日 午前五時

五時励行にお勤めが始まります。
ご祈禱をして頂き、今月の霊神符
(お守り様)を受けましょう!

◎朝勤 (ちようこん)
毎朝 6 時励行お参りです。

(5月～9月は毎朝5時励行です)
どなたでもお気軽にお参りください。

◎水子供養会

・ 毎月十三日 午後一時半より

◎唱題行脚



※今月は立教開宗会の為、日程の變
更をいたします。お間違えのないよう
に!

二十八日 ↓ 二十七日 (土)

・ 午後一時半より

先月の参加者 (敬称略・順不同)

谷川寛敬・伊藤宗治・高木昶・土居
可久子・谷川まり子・高田富美子・
谷川久仁子

じちんさい

◎地鎮祭・新車・新築・改築のお

払いは、秘妙五段の特別祈禱で、

一年中いつでもお気軽にお申し

込み下さい



ラニ・フラ・ホア



来る六月三十日 (日) 午後一時半
フラの発表会を開催致しますので、
ご来場お待ち致しております。
詳細は、後日お知らせ致します。

イリマクラス

・ 毎週火曜日

・ 午後一時三十分～二時四十五分

・ 午後六時三十分～七時四十五分

プルメリアクラス

・ 毎週火曜日

・ 午後二時四十五分～四時十五分

・ 午後七時四十五分～九時十五分

レファクラス

・ 月一～二回 月曜日

午後一時半～四時

滑川教室

・ 第二・第四 金曜日

午前十時～十一時半

金山谷教室

・ 第一・第三 金曜日

午後七時半～九時

大町フラサークル

・ 第一・第三 土曜日

午後二時～三時半

富山教室

・ 月二回 水曜日

午後七時半～九時

高岡教室 (ハートエンジェル)

・ 第一・第三 木曜日

午後七時半～九時

老人クラブ

・ 第一・第二 水曜日

午後一時半～三時